

2024年12月期 連結決算説明資料

2025年2月
シークス株式会社





INDEX

- 2024年12月期 連結決算概要
- 2025年12月期 連結業績予想
- 設備投資・減価償却費
- 今期のトピックス
- 製造技術関連
- サステナビリティに関する取り組み
- 株主還元
- バイオ抗体医薬品事業の取り組み（Renzoku Biologics社）
- 免責事項

連結決算概要

連結損益

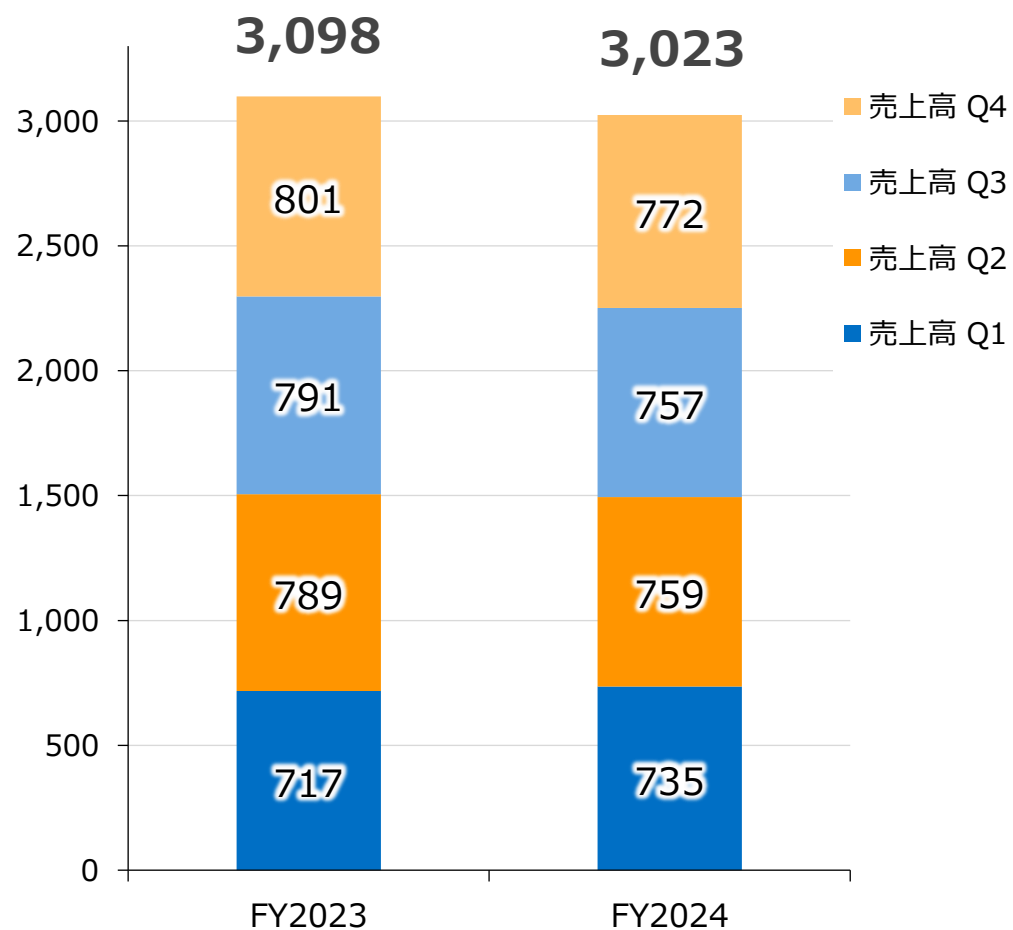
(単位：百万円)	FY2023		FY2024		増減 (FY2023 対 FY2024)		為替 影響額	実質増減	
	金額	%	金額	%	金額	%		金額	%
売上高	309,768	100.0	302,314	100.0	△ 7,454	△ 2.4	16,595	△ 24,049	△ 7.8
売上総利益	30,850	10.0	28,607	9.5	△ 2,243	△ 7.3	1,354	△ 3,598	△ 11.7
販管費	18,595	6.0	20,047	6.6	1,452	7.8	968	483	2.6
営業利益	12,254	4.0	8,559	2.8	△ 3,695	△ 30.2	385	△ 4,081	△ 33.3
経常利益	11,849	3.8	8,288	2.7	△ 3,560	△ 30.0	為替レート		
特別損益	3	0.0	△ 2,322	△ 0.8	△ 2,325	-	FY2023 FY2024		
法人税等	3,671	1.2	2,252	0.7	△ 1,418	△ 38.6	USD	140.40	151.48
							EUR	151.78	163.90
							HKD	17.93	19.41
							THB	4.03	4.31
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,185	2.6	3,754	1.2	△ 4,431	△ 54.1	RMB	19.80	21.02



連結決算概要

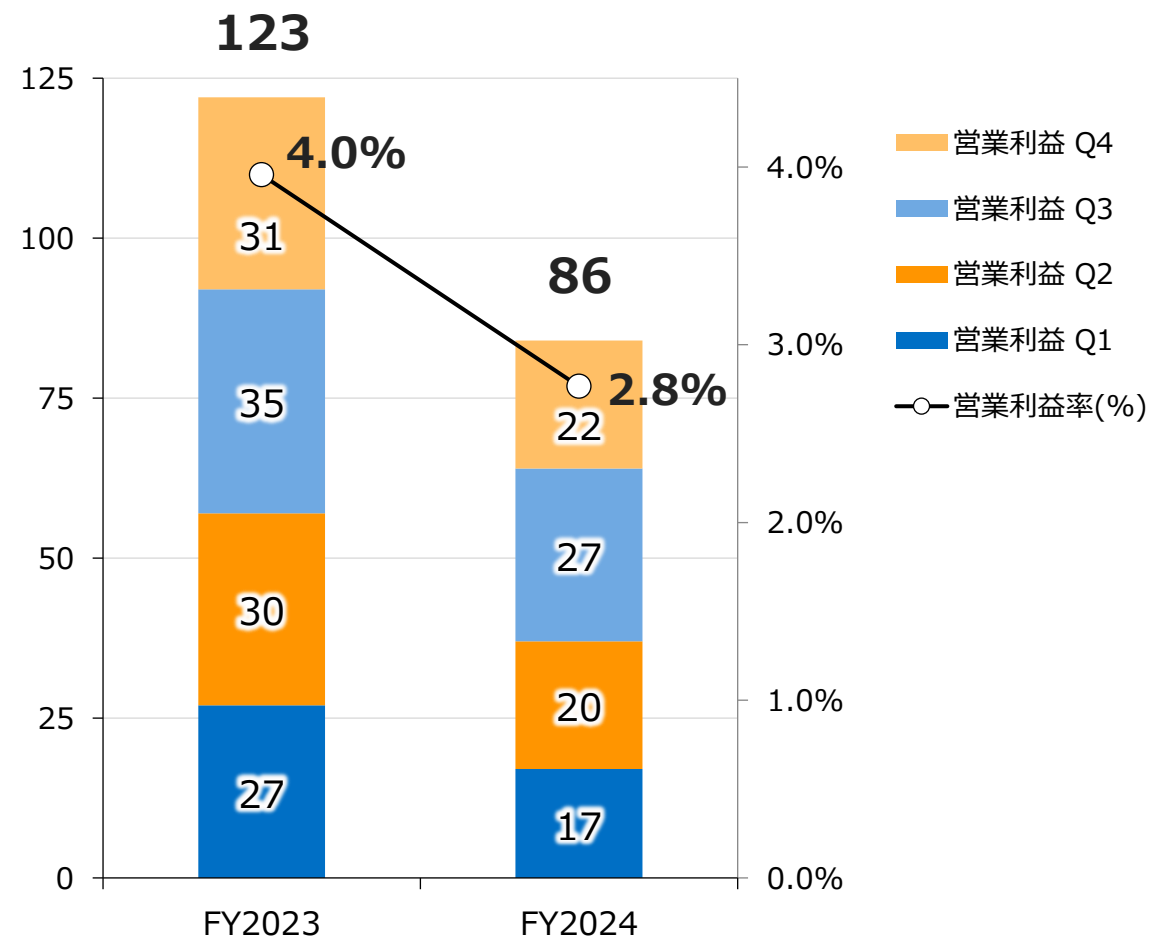
● 四半期別売上高

(単位：億円)



● 四半期別営業利益

(単位：億円)

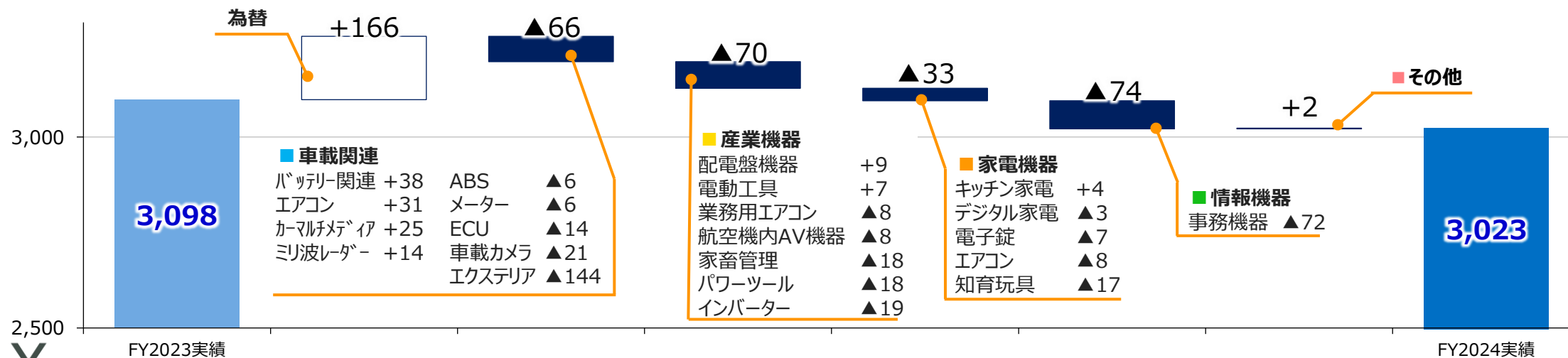
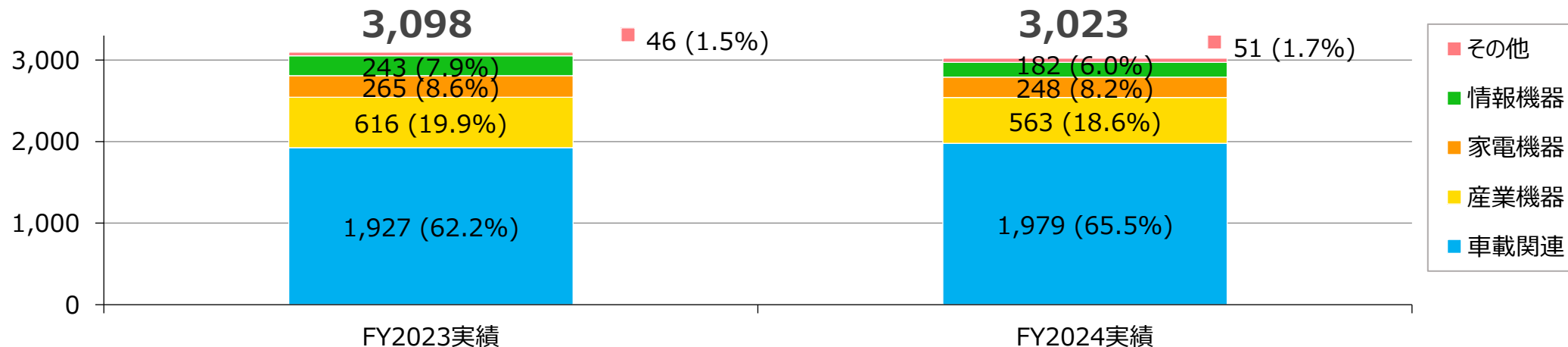




連結決算概要

分野別売上高（2023年実績 vs. 2024年実績）

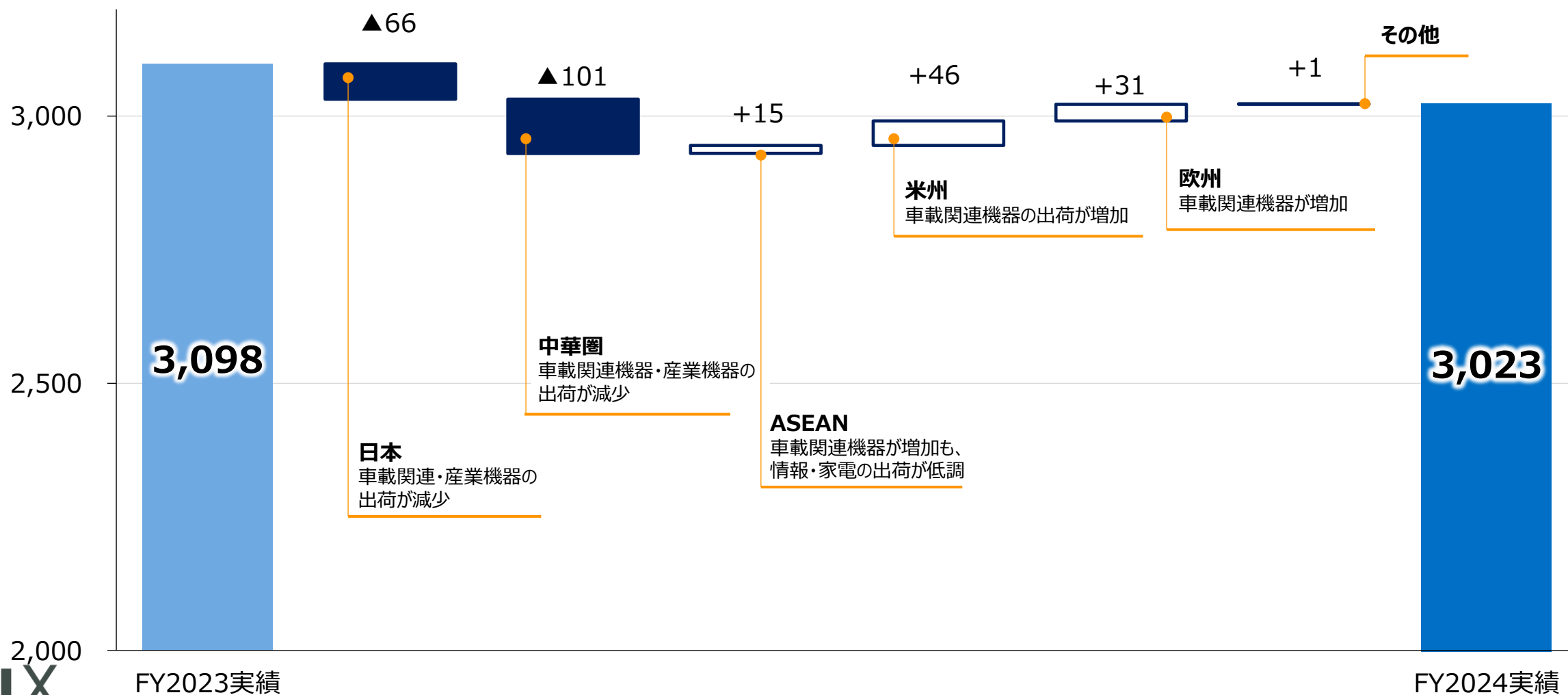
（単位：億円）



連結決算概要

地域別売上高分析

(単位：億円)

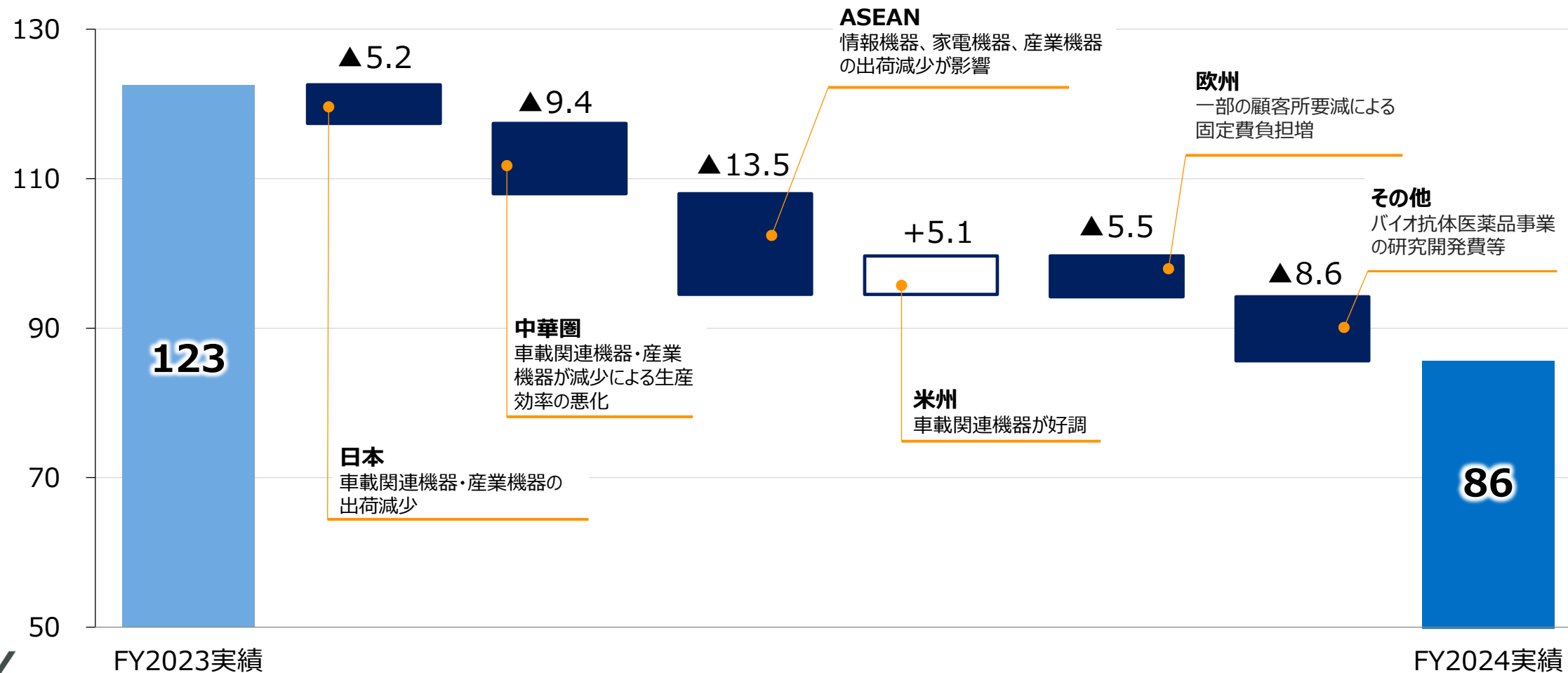




連結決算概要

地域別営業利益分析

(単位：億円)





連結決算概要

- 販売管理費

(単位：百万円)	FY2023		FY2024		増減	
	金額	売上比(%)	金額	売上比(%)	金額	率(%)
人件費	8,177	2.6	8,987	3.0	809	9.9
旅費・通信費	491	0.2	480	0.2	△ 11	△ 2.3
運賃荷造費	3,151	1.0	2,746	0.9	△ 404	△ 12.8
支払手数料	1,126	0.4	1,347	0.4	221	19.6
賃借料	279	0.1	282	0.1	2	1.0
減価償却費	1,768	0.6	2,013	0.7	244	13.8
その他経費	3,601	1.2	4,190	1.4	589	16.4
販売管理費	18,595	6.0	20,047	6.6	1,452	7.8

※ 人件費およびその他経費において科目の組み換えを行っており、2023年の値を遡及修正しております。



連結決算概要

- 営業外損益

(単位：百万円)	FY2023	FY2024
受取利息	550	749
受取配当金	130	87
持分法による投資利益	26	-
補助金収入	163	246
物品売却収入	201	230
スクラップ売却益	210	199
その他	440	817
営業外収益	1,723	2,330
支払利息	1,485	1,508
持分法による投資損失	-	19
為替差損	155	421
物品購入費用	69	107
その他	418	542
営業外費用	2,129	2,600
営業外損益	▲ 405	▲ 270



連結決算概要

貸借対照表

	FY2023 期末	FY2024 期末
(単位：百万円)	金額	金額
流動資産	157,621	156,211
受取手形、売掛金及び契約資産	60,432	61,665
たな卸資産	71,909	64,144
固定資産	59,216	61,273
資産合計	216,838	217,484
流動負債	88,653	78,469
買掛金	43,262	41,000
短期借入金	28,103	16,386
1年内償還予定の社債	-	5,000
固定負債	38,638	37,981
社債	10,000	15,000
長期借入金	22,139	16,479
負債合計	127,292	116,451
純資産	89,545	101,033
(うち、非支配株主持分)	446	539
負債および資本合計	216,838	217,484

増減 (FY2023期末 対 FY2024期末)			
金額	率 (%)	うち為替影響	実質
△ 1,410	△ 0.9	11,311	△ 12,722
1,233	2.0	3,738	△ 2,504
△ 7,764	△ 10.8	5,155	△ 12,919
2,057	3.5	4,699	△ 2,642
646	0.3	16,011	△ 15,364
△ 10,184	△ 11.5	5,011	△ 15,195
△ 2,262	△ 5.2	2,944	△ 5,206
△ 11,716	△ 41.7	△ 12,672	955
5,000	-	-	5,000
△ 656	△ 1.7	651	△ 1,307
5,000	50.0	-	5,000
△ 5,660	△ 25.6	△ 6,121	461
△ 10,840	△ 8.5	△ 16,503	5,662
11,487	12.8	10,348	1,138
92	20.8	38	54
646	0.3	16,011	△ 15,364



連結決算概要

- キャッシュフロー

(単位：百万円)	FY2020 通期	FY2021 通期	FY2022 通期	FY2023 通期	FY2024 通期
営業C/F	13,280	△ 8,106	5,567	19,796	23,097
投資C/F	△ 6,034	△ 7,765	△ 8,892	△ 10,392	△ 9,088
財務C/F	1,291	869	6,676	△ 5,989	△ 12,320
現金及び現金同等物	22,968	9,315	13,652	18,059	21,769
キャッシュフロー対 有利子負債比率（年）	3.2	—	10.3	3.2	2.5
インタレストカバレッジレシオ（倍）	34.9	—	7.6	13.2	15.7



連結業績予想

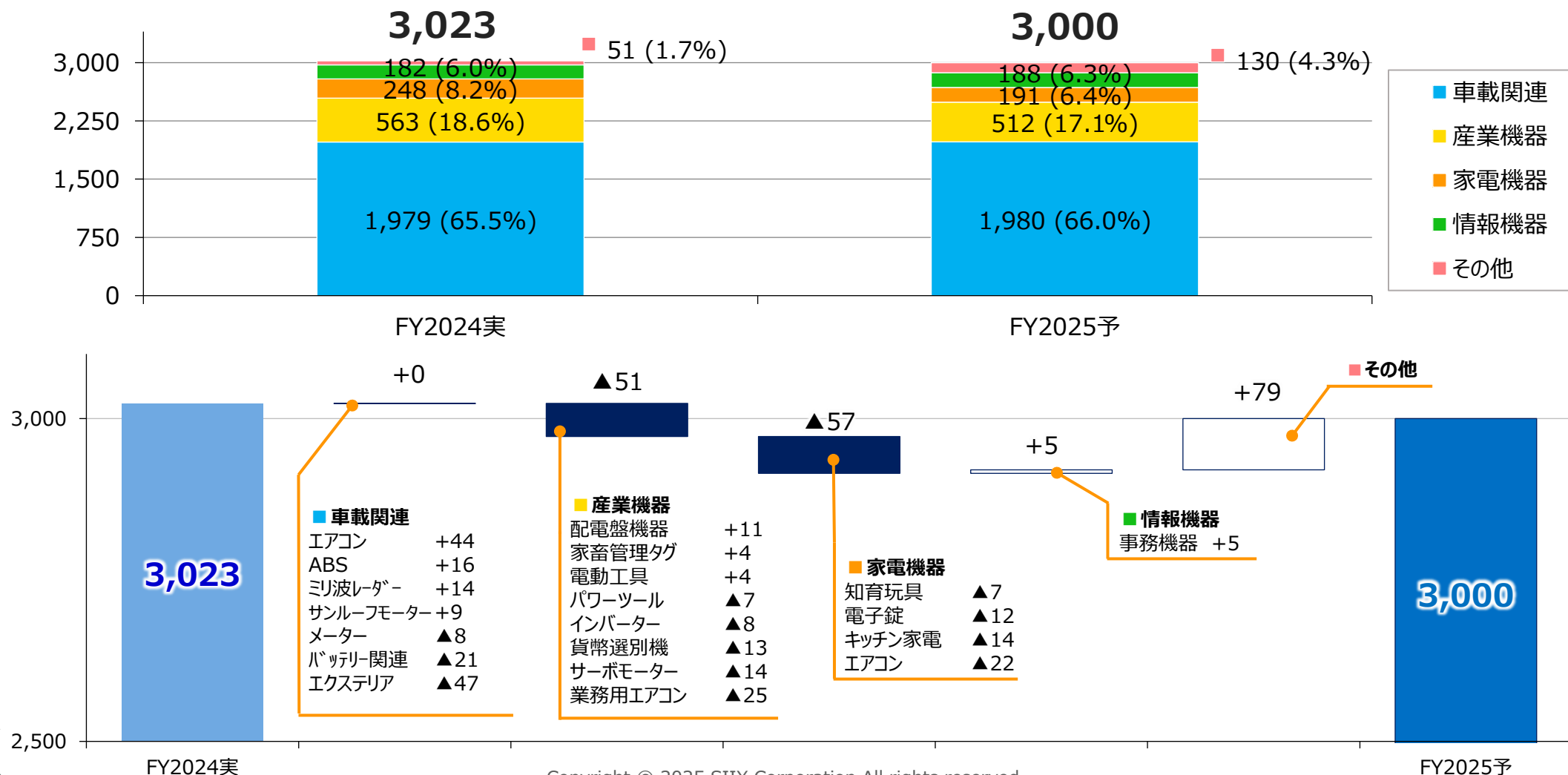
	FY2023 実績		FY2024 実績		FY2025 予想		FY2024 vs. FY2025	
(単位：百万円)	%		%		%		金額	率 (%)
売上高	309,768		302,314		300,000		△ 2,314	△ 0.8
営業利益	12,254	4.0	8,559	2.8	8,500	2.8	△ 59	△ 0.7
経常利益	11,849	3.8	8,288	2.7	7,500	2.5	△ 789	△ 9.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,185	2.6	3,754	1.2	5,200	1.7	1,445	38.5
1株当たり 当期純利益	173円56銭		79円75銭		110円43銭		30円68銭	38.5

想定レート(USD)	¥140.40	¥151.48	¥149.00
------------	---------	---------	---------

連結業績予想

品種別売上高予想（2024年実績 vs. 2025年予想）

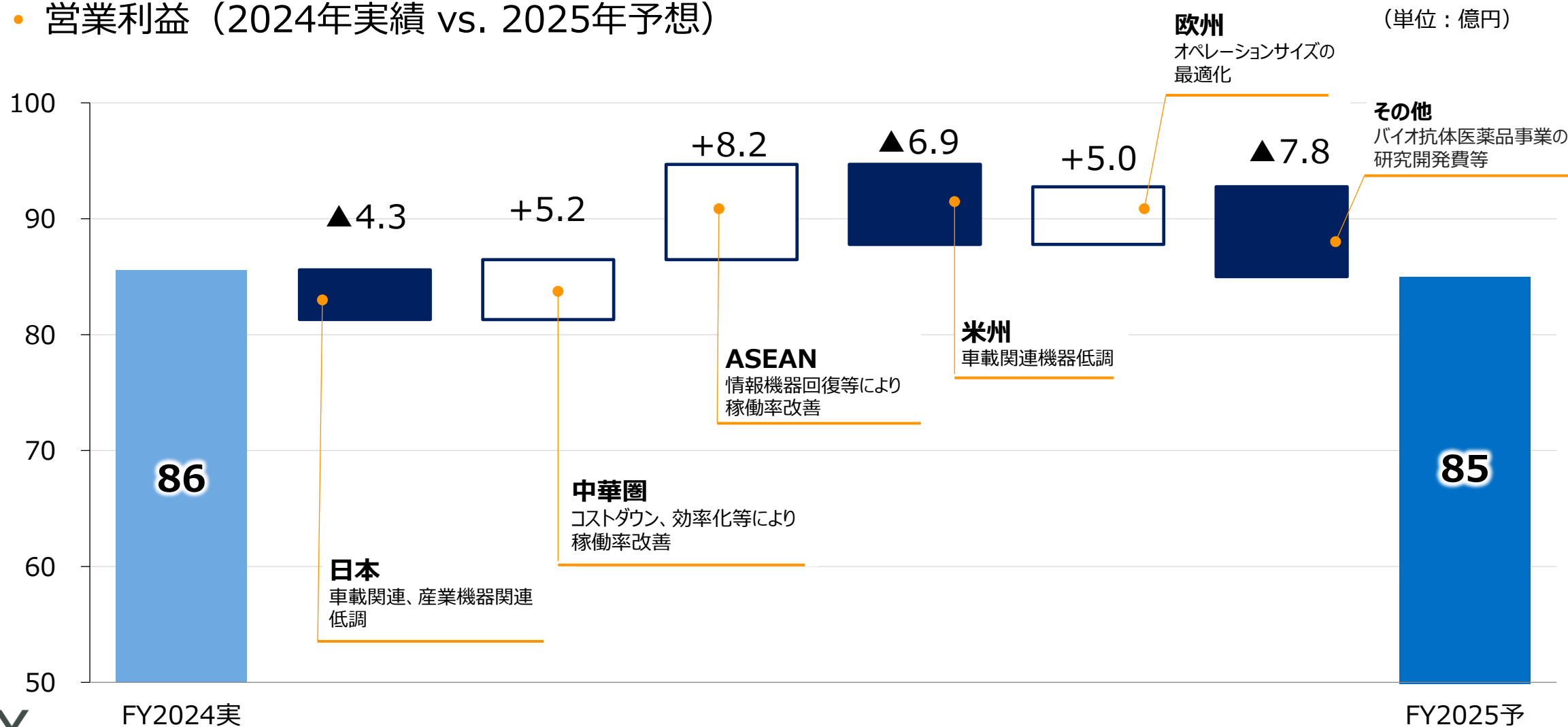
（単位：億円）





連結業績予想

- 営業利益（2024年実績 vs. 2025年予想）

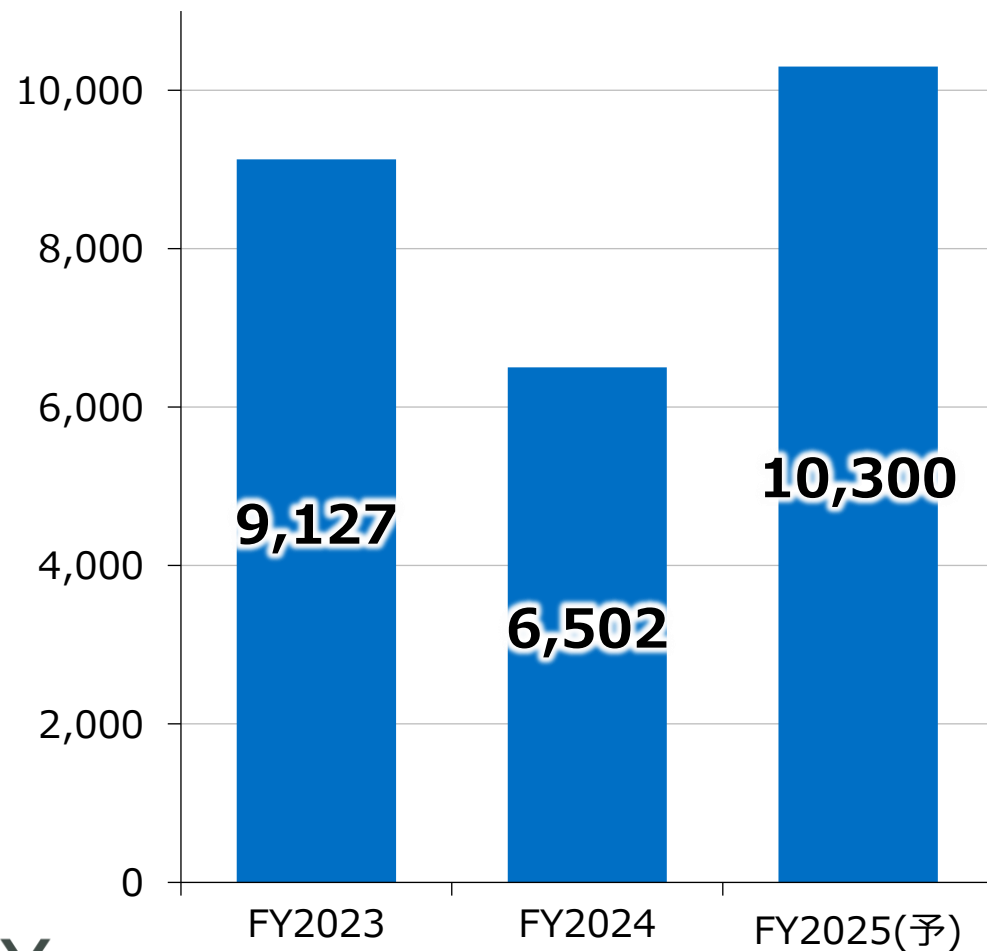




設備投資・減価償却費

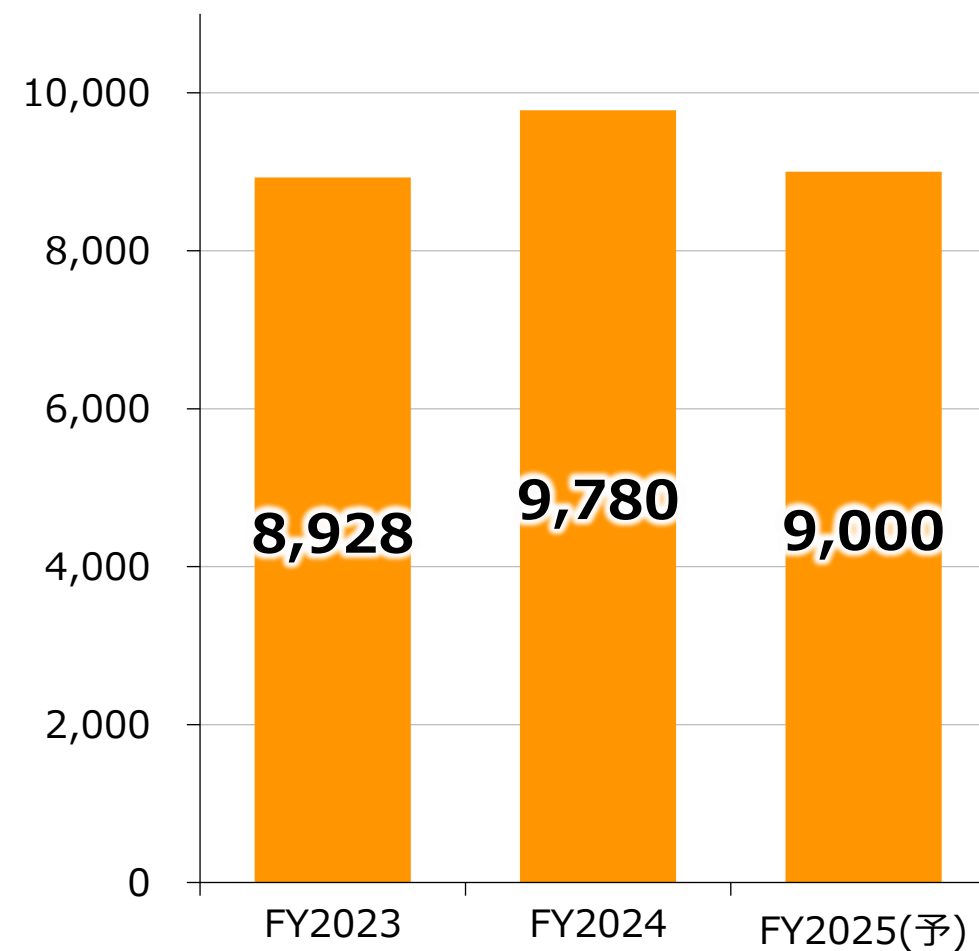
● 設備投資

(単位：百万円)



● 減価償却費

(単位：百万円)





トピックス

- 欧州EMS事業をスロバキア工場に集約（効率化追求）
- 中華圏の構造改革、顧客ポートフォリオ再構築
- バッテリーパック基板ビジネス拡大
- タイで中華系車載メーカーとビジネス開始
- 警備ロボットビジネス開始予定（Botmind社）
- 空調向けモジュールビジネス交渉中
- インドビジネス展開中（JDMビジネス、バッテリービジネス）
- 部品メーカーとのモジュールビジネス取り組み強化中
- 導電性インク拡販サンプル評価中
- 医療業界、介護業界開拓中
- バイオ抗体医薬CDMO事業（Renzoku社計画通り進展中）

シークスEMS製造工場の基本方針と重点活動項目

製造DX(Digital transformation)の推進

コアコンピタンス強化

- ・モノ造り分科会実施
工場長フォーラム開催
- ・海外人材活用
- ・シークスアカデミー技能編

人材育成

- ・設備の標準化
- ・シークスアカデミー教育編

マネージメント 変革

ESG
対応力

リアルタイム
管理

バリューチェーン
の最適化

SIIX製造 DX

製造現場 変革

設備効率の
最適化

生産プロセスの最適化
品質・生産性

スキルの継承
人材育成

IT/ オペレーション 変革

見える化

自動化

OT-IT の相互運用

OT: Operational Technology
設備などから入手できるDATA

スマート工場化

- ・可視化管理
(Dashboard)
- ・自動倉庫導入
(部品タワー導入)
- ・自動化設備、ロボット導入
(自社開発自動機導入)

生産現場強化

- ・高品質確保
(SMAPSの拡充)
- ・APQP導入 運用強化
- ・SIIX Principles浸透

コアコンピタンス強化：人材育成

● シークスマニューファクチャリングアカデミーの考え方

● 目的

モノ造りに必要な人材育成のため、
「SIIX Manufacturing Academy」を設立し
シークスモノ造りの根幹をなす技術力・スキルの
向上を図り、シークス製造マンを継続的に育成
できる体制を構築する。

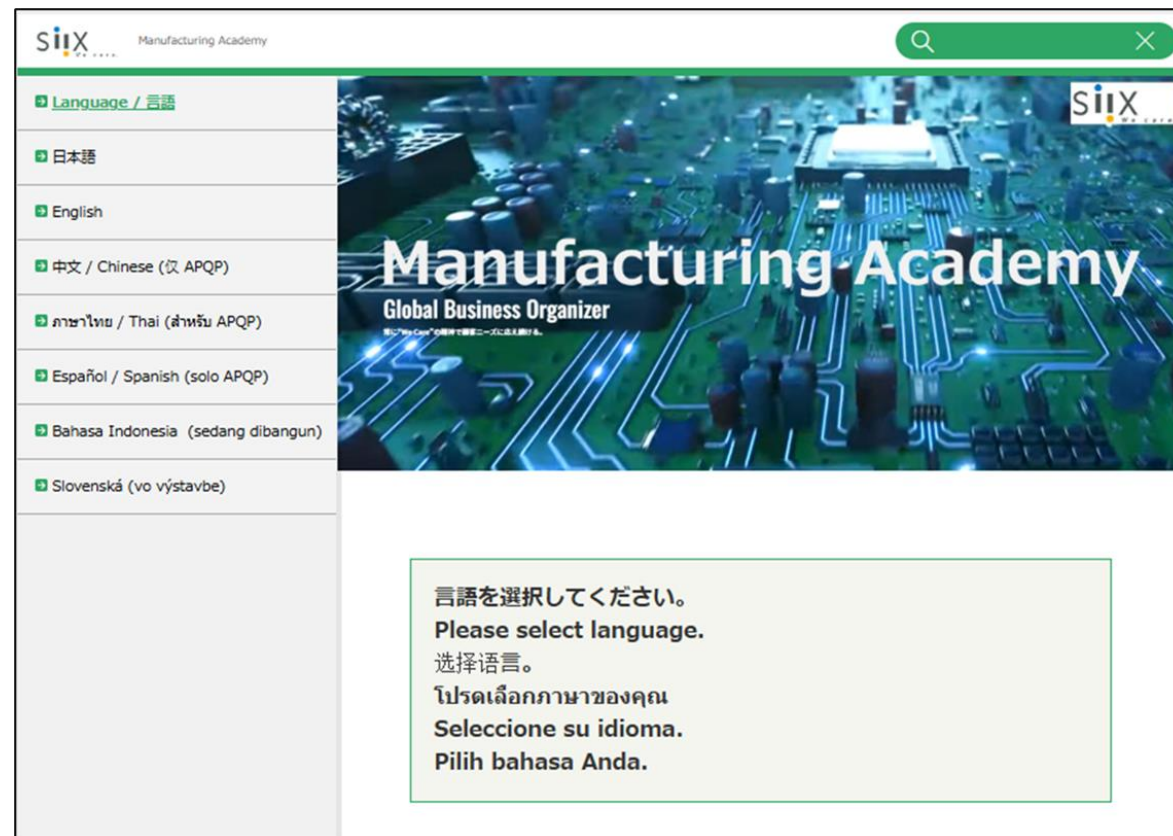
● 全シークス社員が受講可能

- ✓ 技術者だけでなく管理者・営業担当者・
海外ローカル社員、すべてを対象に開校した。
- ✓ 7カ国語多言語対応、初級・中級・上級編で
カリキュラムが構成される。

- ・ 初級編：各プロセスのアウトラインを説明
- ・ 中級編：生産のための管理方法、生産方法を説明
- ・ 上級編：不良品の対策方法について説明

● 科目は製造工程に毎に作成

- ✓ 工程別カリキュラムを作成。
- ✓ 受講後は理解度テストを実施し受講者管理を行う。



スマート工場化の取り組み体制

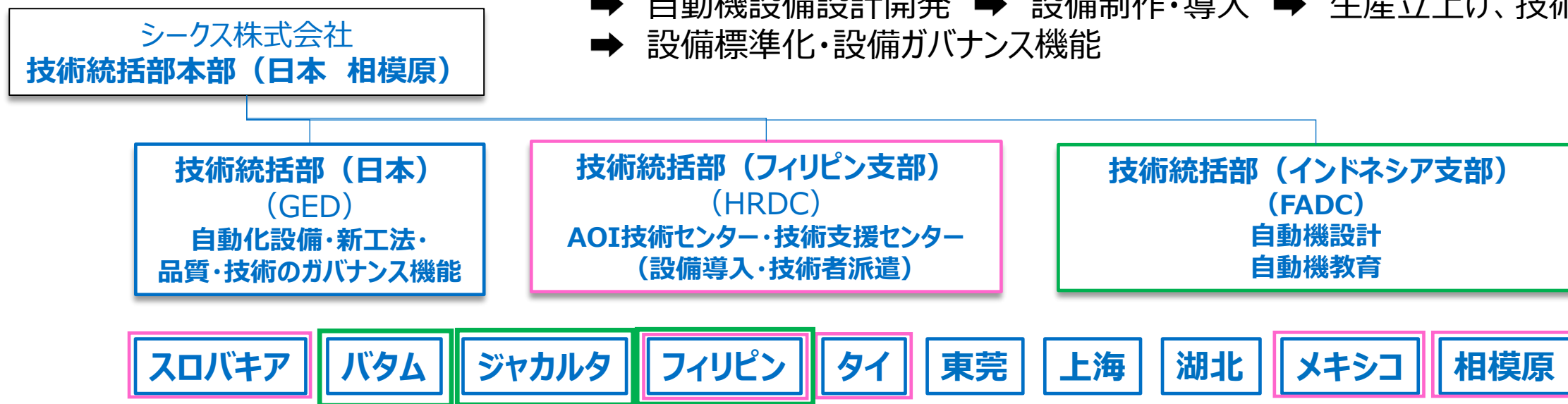
グローバル体制によるスマート工場の加速

GED (Global Engineering Department)
FADC (Factory Automation Development Center)
HRDC (Human Resource Development Center)

技術統括部 (日本)
自動機設計開発センター (インドネシア)
技術支援センター (フィリピン)

自動化推進活動

➡ 自動機設備設計開発 ➡ 設備制作・導入 ➡ 生産立上げ、技術支援
➡ 設備標準化・設備ガバナンス機能

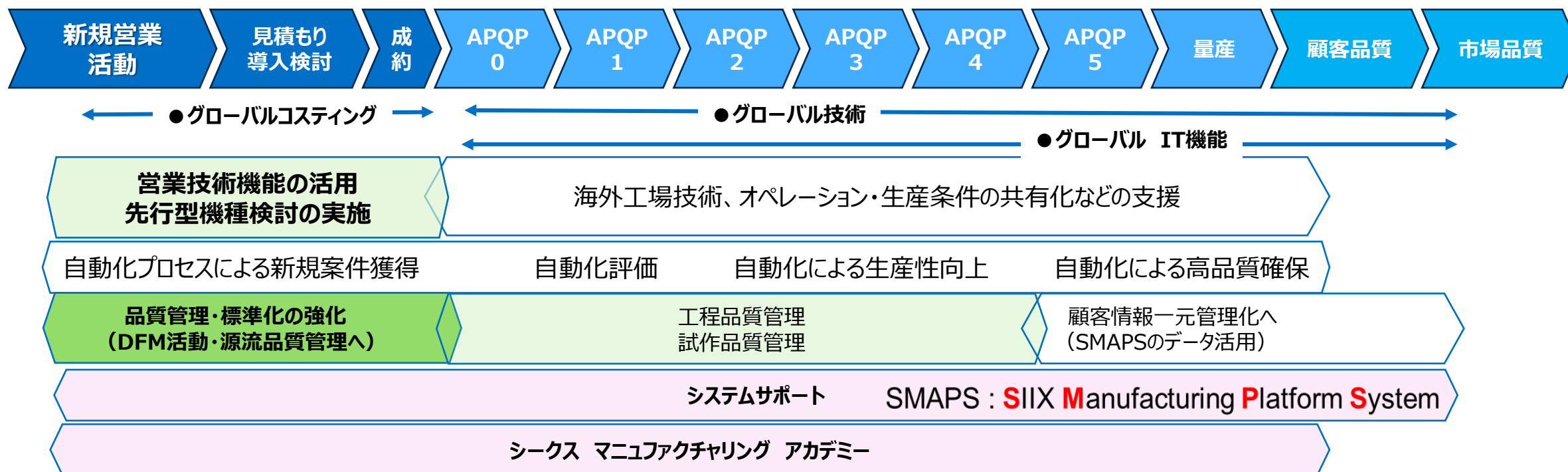


生産現場の強化

● 一気通貫型生産プロセスの強化

- 技術部隊による全プロセスの支援体制の強化
- グローバル機能による全プロセス・全拠点の支援

- 成約前から技術・品質・自動化の支援を開始
- グローバルコストイングによる見積もりの適正化
- グローバル技術による製造DX化の加速
- グローバルIT機能による全拠点の基幹システム支援と製造システムの共通化





サステナビリティに関する取り組み

Environment

CO2総排出量削減

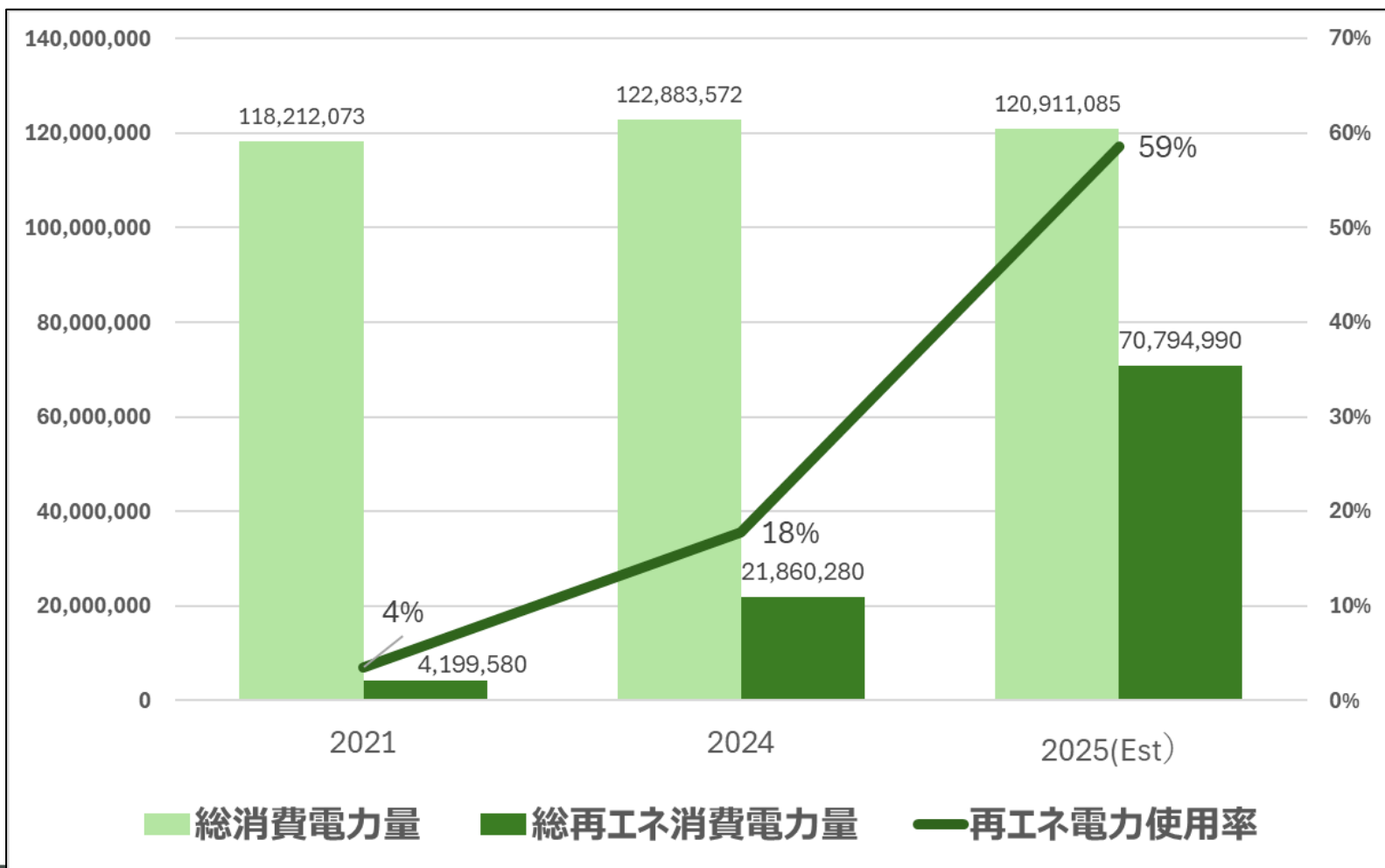
	削減目標 (2030年)	基準年 (2021年)	2023年 実績	削減活動
SCOPE 1		924t	1,405t	社用車のEV化推進中 スロバキア・相模原・ドイツ・台湾・中国など全拠点
SCOPE 2	2021年比 42%削減 ↓ 目標の変更 95.6%削減	69,484t	18t 基準年比 99.9%減	太陽光パネルの設置 設置済： 上海, 東莞, 湖北, メキシコ, ジャカルタ, バタム, シンガポール 2025年：タイ 再生可能エネルギー由来の電力へ切替 欧州・相模原工場100%、 フィリピン45%から25年以降97%、東莞、上海工場90% 非化石証書を購入 （2025年ローカル購入開始：タイ・メキシコ・カラワン・中国全工場） 省エネ活動の促進 はんだ硬化炉の停止時間の省エネ実施、エアコンの集中管理による省エネ継続 生産設備の省エネモデルへの切替 消費電力量を設備投資の基準に追加
SCOPE 3	2021年比 25%削減	583,026t	644,692t	仕入先に対し定期的ヒアリングを実施、排出データの精度向上およびサプライチェーン全体でのCO2排出量削減を目指して協働する（2025年 NTT data C Turtleによる管理開始）
TOTAL		653,434t	646,115t	・2023年度第三者保証取得（SCOPE1,2,3） ・CDPサプライヤーエンゲージメントリーダー選出（2023年度） ・SBT認証取得（2030年目標） ・CDPスコア 気候変動 B（2024年度）

再エネ利用率
21年度 4 %
→23年度 15 %
→24年度 18 %
→25年度 **59%（予定）**



CO2削減活動

Scope-2



太陽光発電設置状況



再エネ電力利用状況

スロバキア工場、ハンガリー工場、日本相模原工場、
フィリピン工場、ドイツ、シンガポール営業事務所

今後の予定

太陽光発電
シンガポール
タイ工場
再生可能エネルギーへの切り換え
フィリピン工場 100%へ
東莞工場 90%
上海工場 90%
排出権自国購入へ切替
中国全工場
タイ・メキシコ・カラワン工場

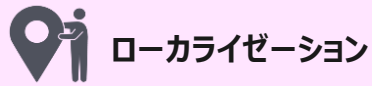
シークスアカデミーの取り組み



エンゲージメント

- 目的
企業理念の浸透
- 対象者
全従業員
- 管轄
総務部、現地法人

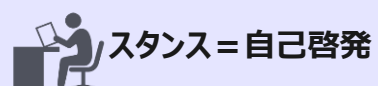
会社の目指す姿・方向性を理解/共感し、自ら貢献しようという意識を醸成するための教育を行う。



ローカライゼーション

- 目的
グローバル規模での企業理念の浸透
- 対象者
海外拠点の従業員
- 管轄
グローバルHR

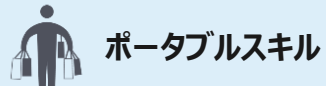
国際的な環境や多様な文化に対応するために必要なスキルや能力を育てるための教育を行う。



スタンス = 自己啓発

- 目的
マインド強化
- 対象者
全従業員
- 管轄
総務部

自ら学び成長するための考え方・とらえ方を醸成する。また各個人の興味・指向に応じた様々なカリキュラムを提供する。



ポータブルスキル

- 目的
汎用スキルを身につける
- 対象者
全従業員
- 管轄
総務部

個人が異なる状況や仕事に適應できるよう汎用的なスキルや能力を育てるための教育研修を行う。



製造技術

- 目的
技術・技能の向上
- 対象者
全従業員
- 管轄
技術統括部

製造管理と製造技術、更に専門知識のスキル向上と統一基準下での標準管理の運用を目指す。



専門知識

- 目的
技術・技能の向上
- 対象者
営業部門
- 管轄
全部署

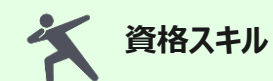
各職種で必要とされる専門的な技術、知識、および能力を底上げし、磨きをかけるための教育研修を行う。



DX

- 目的
技能・技術の向上
- 対象者
全従業員
- 管轄
技術統括部、情報システム部

基本的なITスキル、データ管理分析、プログラミング、ソフト・ハード・アプリ・編集技術・インターネットセキュリティスキル等の教育を行う。



資格スキル

- 目的
技術・技能の向上
- 対象者
全従業員
- 管轄
総務部

専門資格や認定資格など、各業務やポジションに必要な資格取得に関するサポートを行う。

エンゲージメントスコア（ES） 目標達成に向けて

● 今後のES目標

2024年10月時点の結果



49.5



2026年度目標

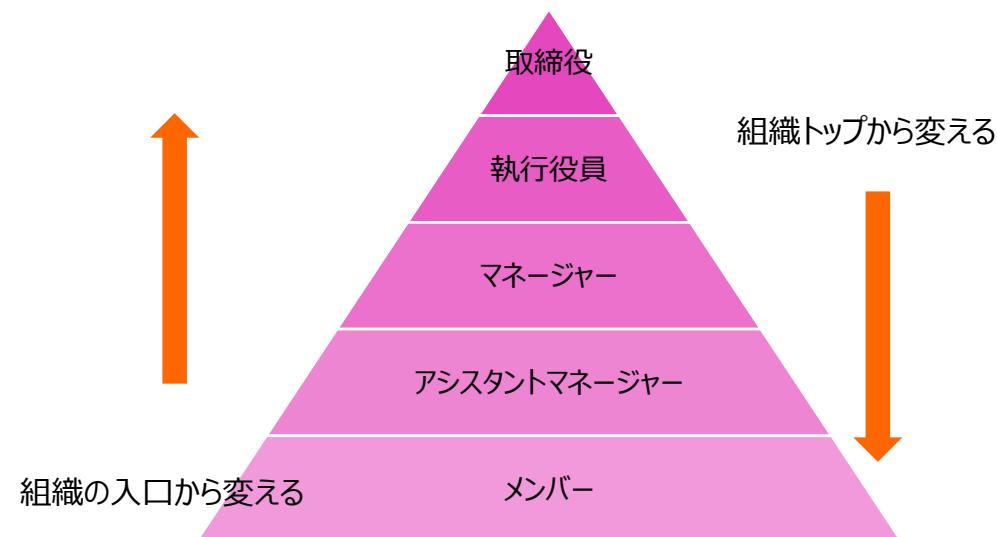


55.0

今後、サーベイは
海外マネージャー層にも対象を拡大
対象者364名→約650名へ

● 目標達成のための取り組み計画

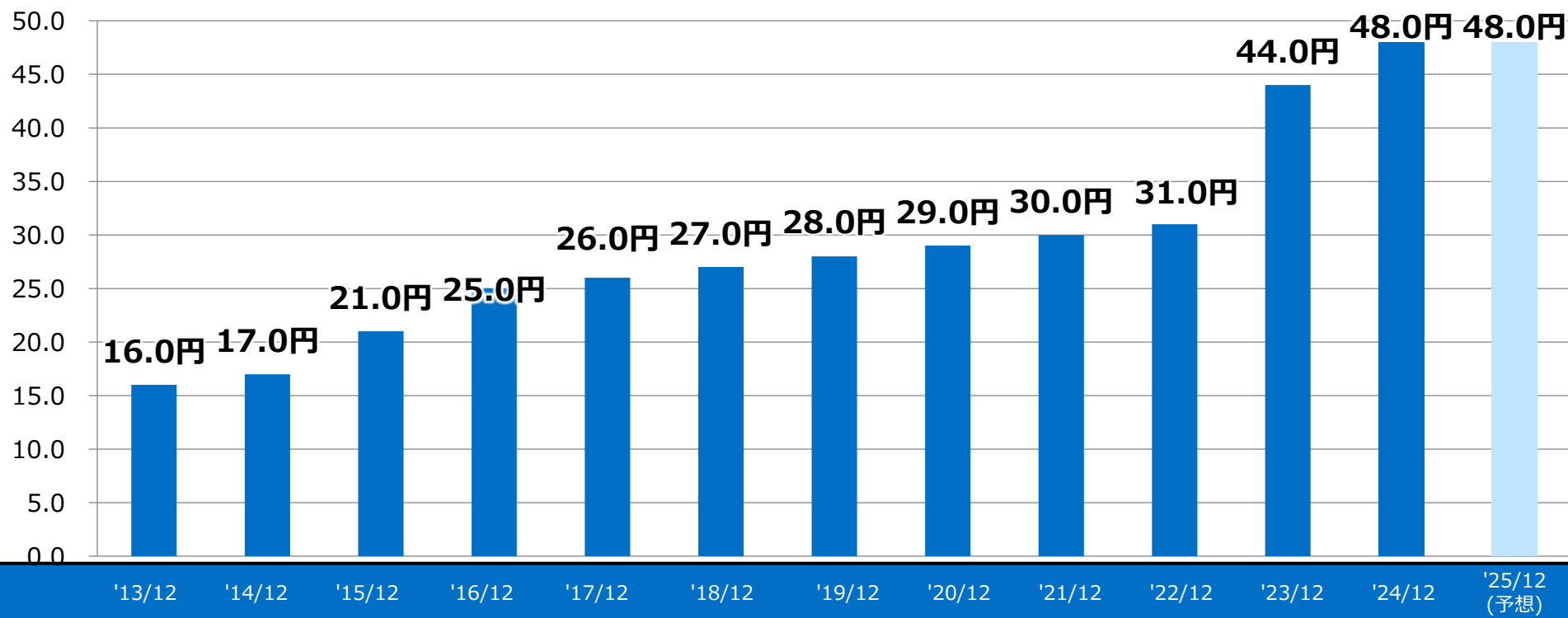
- 役員研修導入
- グレード別研修導入
- 若手社員向け海外研修プログラムの継続
- シークスアカデミーにおける理念浸透取り組みの継続・発展
（例：シークスパイオニアーズの活動）
- 新卒採用活動の改善
- 企業理念を社史から学ぶ・共有する
- 企業理念のポスター化





株主還元

- 年間配当



1株当たり配当金 (円)	16.0	17.0	21.0	25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0	31.0	44.0	48.0	48.0
連結配当性向 (%)	22.7	19.4	15.2	18.7	18.1	20.5	35.8	79.5	31.1	31.0	25.4	60.2	43.5
自己株式取得	-	-	-	508,900株 約20億円	-	203万株 約40億円	-	-	-	-	25万株 約4億円	-	-
自己株式取得金額	-	-	-	約20億円	-	約40億円	-	-	-	-	約4億円	-	-

※記念配当1円含



Renzoku
Biologics

Renzoku Biologics

A Centre of Excellence for Advanced Biomanufacturing

ミッション

バイオ医薬品製造におけるイノベーションを通じて
世界の人々の健康と医療に貢献する

短期・中期ビジョン

～2026

短期ビジョン

- 治験薬製造の受託を可能にするGMP生産能力（50-200Lスケール）を構築する。
- 連続製造をはじめとする先進製造技術をテコに、バイオ医薬品製造のCentre of Excellenceとして認知されるCDMO企業の基礎を築く。

～2029

中期ビジョン

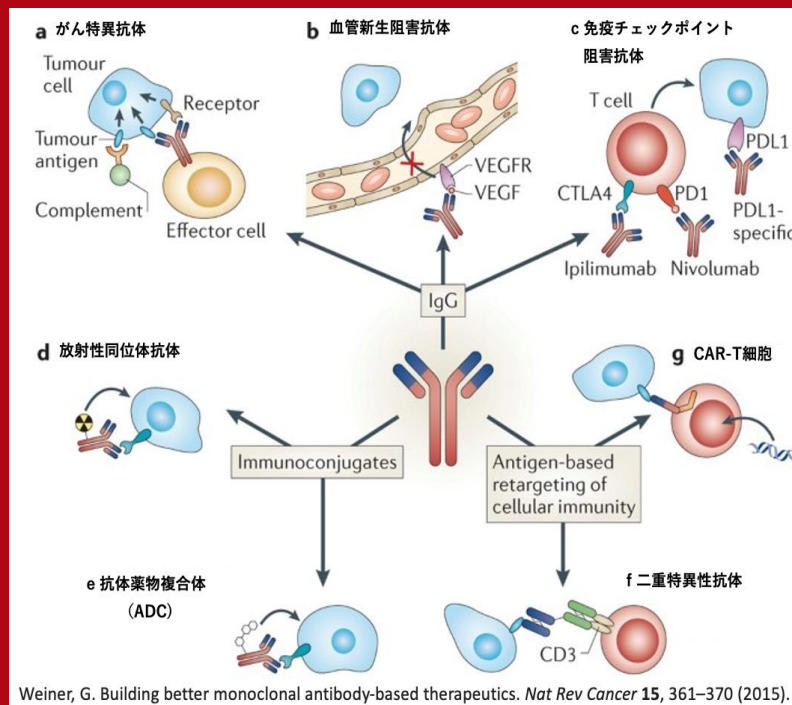
- 商業生産の受託を可能にするGMP生産能力（500Lスケール）と施設を構築する。
- 国内外に事業を展開し、成長のための収益基盤を確保する。

医薬品市場規模の概観

- 2023年の世界の医薬品市場規模はおよそ1.6兆ドル、バイオ医薬品はそのうち1/3程度
- *バイオ医薬品のうち抗体医薬品の市場規模は、40%強程度（2000億ドル台）
- 抗体医薬品CDMOの市場規模は抗体医薬品市場規模の～10%程度（200億ドル台）

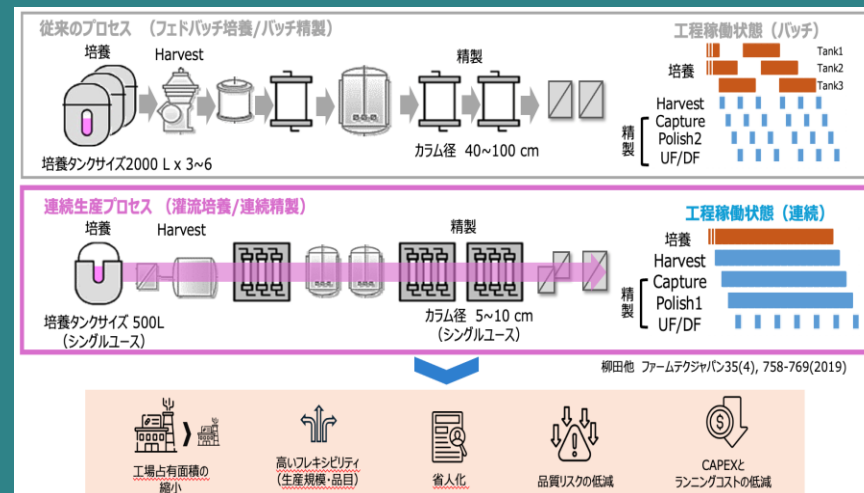
*バイオ医薬品：抗体医薬、その他のタンパク医薬、ペプチド、細胞・遺伝子治療、再生医療、その他（含ワクチン）

抗体医薬品は多様な治療法を産み続ける —例えばがん治療では—

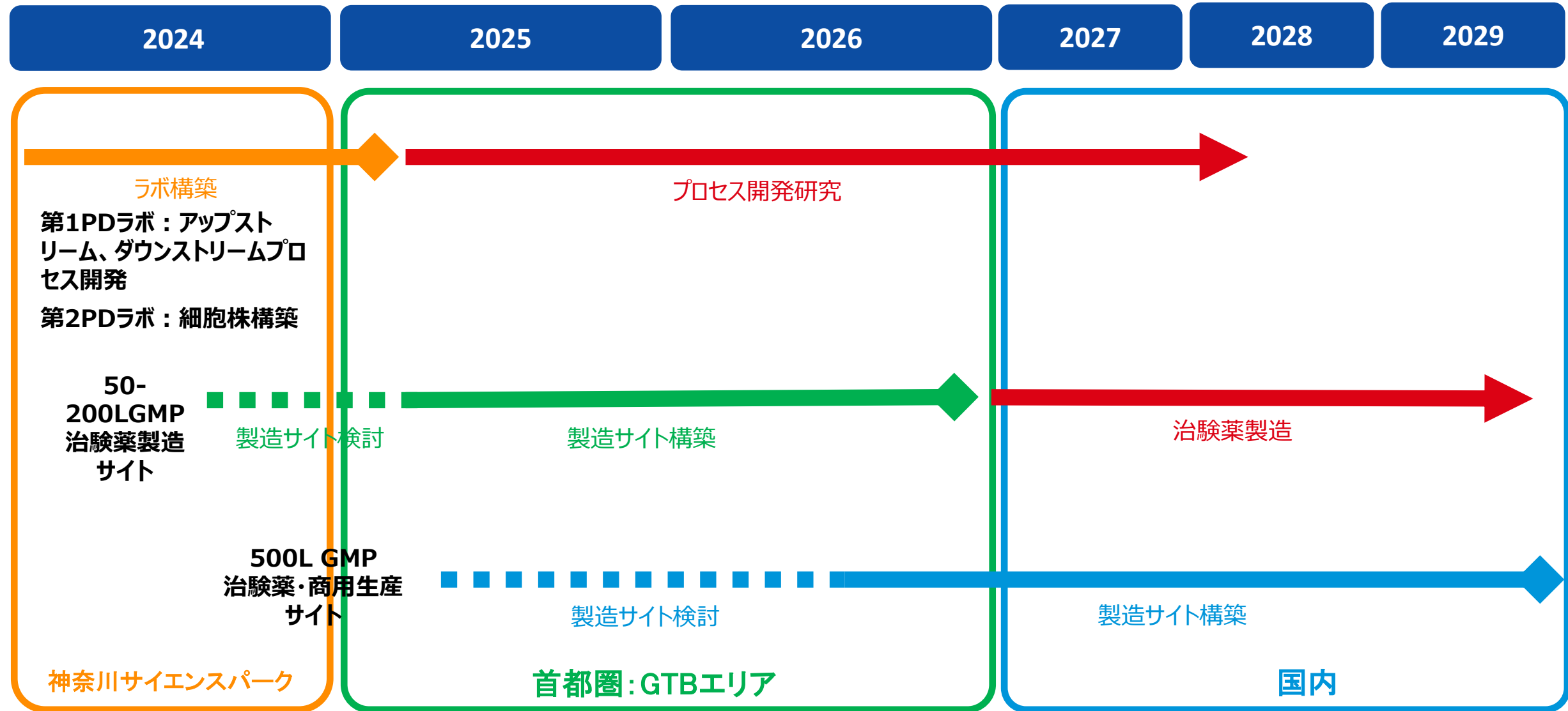


**先進的バイオ生産技術：連続生産、細胞エンジニアリング、自動化、デジタル化、設備・エンジニアリング、プラント建築、生産に関わるエネルギー転換などの技術

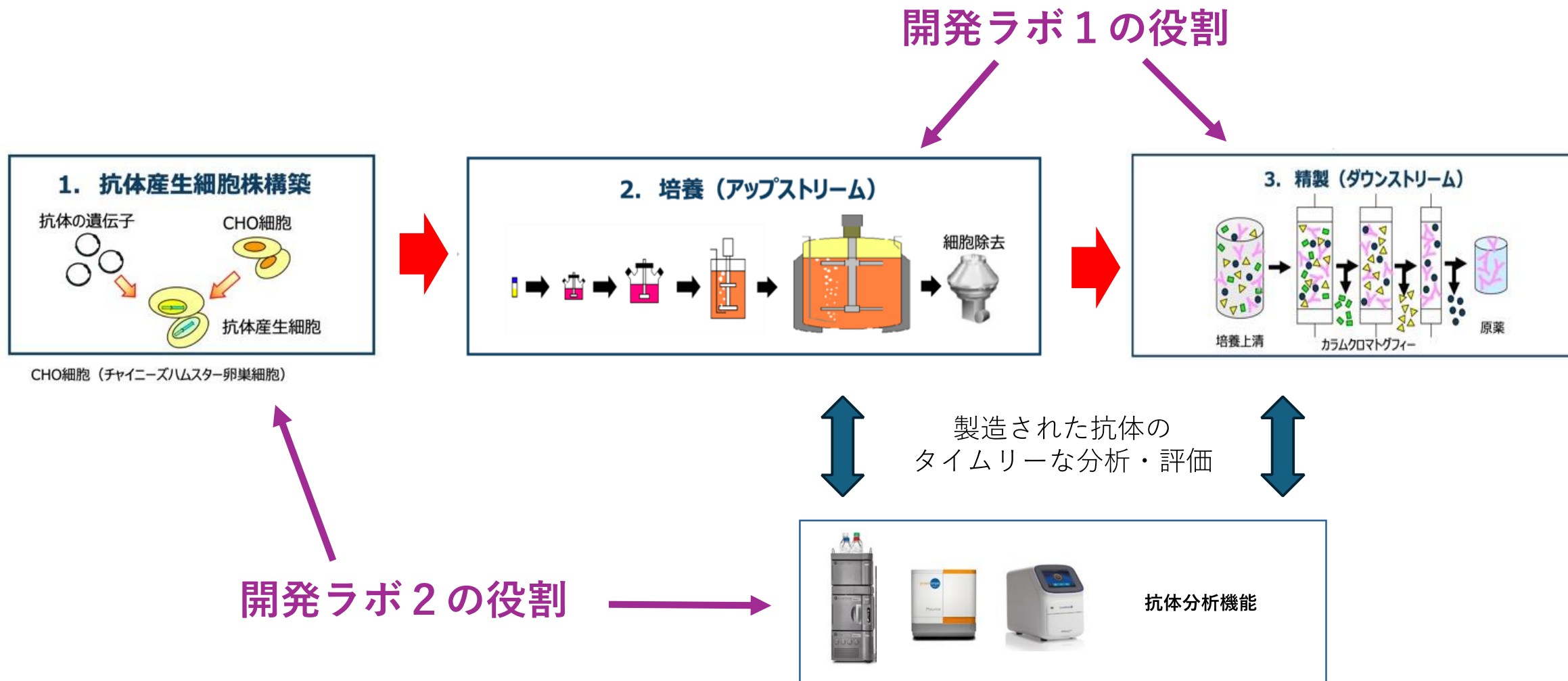
連続生産を始めとする**先進的バイオ 生産技術が生まれている



プロセス開発ラボ、製造サイト構築計画の概要



開発ラボ 1 & 2の役割



かながわサイエンスパーク（KSP）

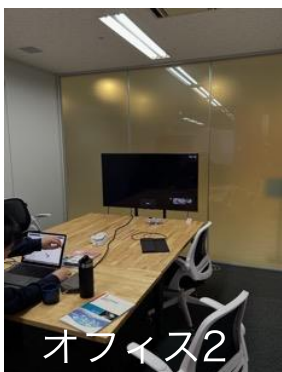


住所：神奈川県川崎市高津区坂戸3-2-1
最寄り駅：東急田園都市線溝の口駅 もしくは JR武蔵溝ノ口駅
駅から無料シャトルで5分

東棟：開発ラボ1

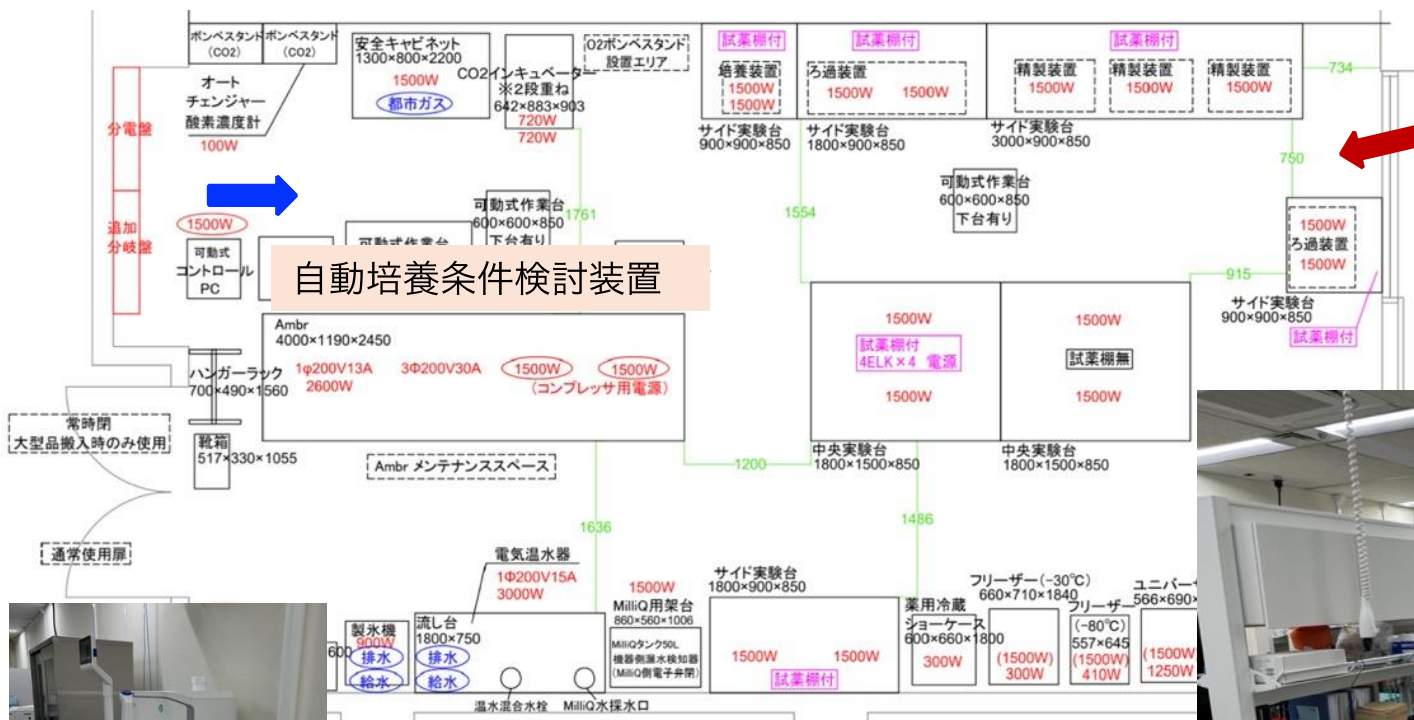


西棟：オフィス1, 2, 会議室

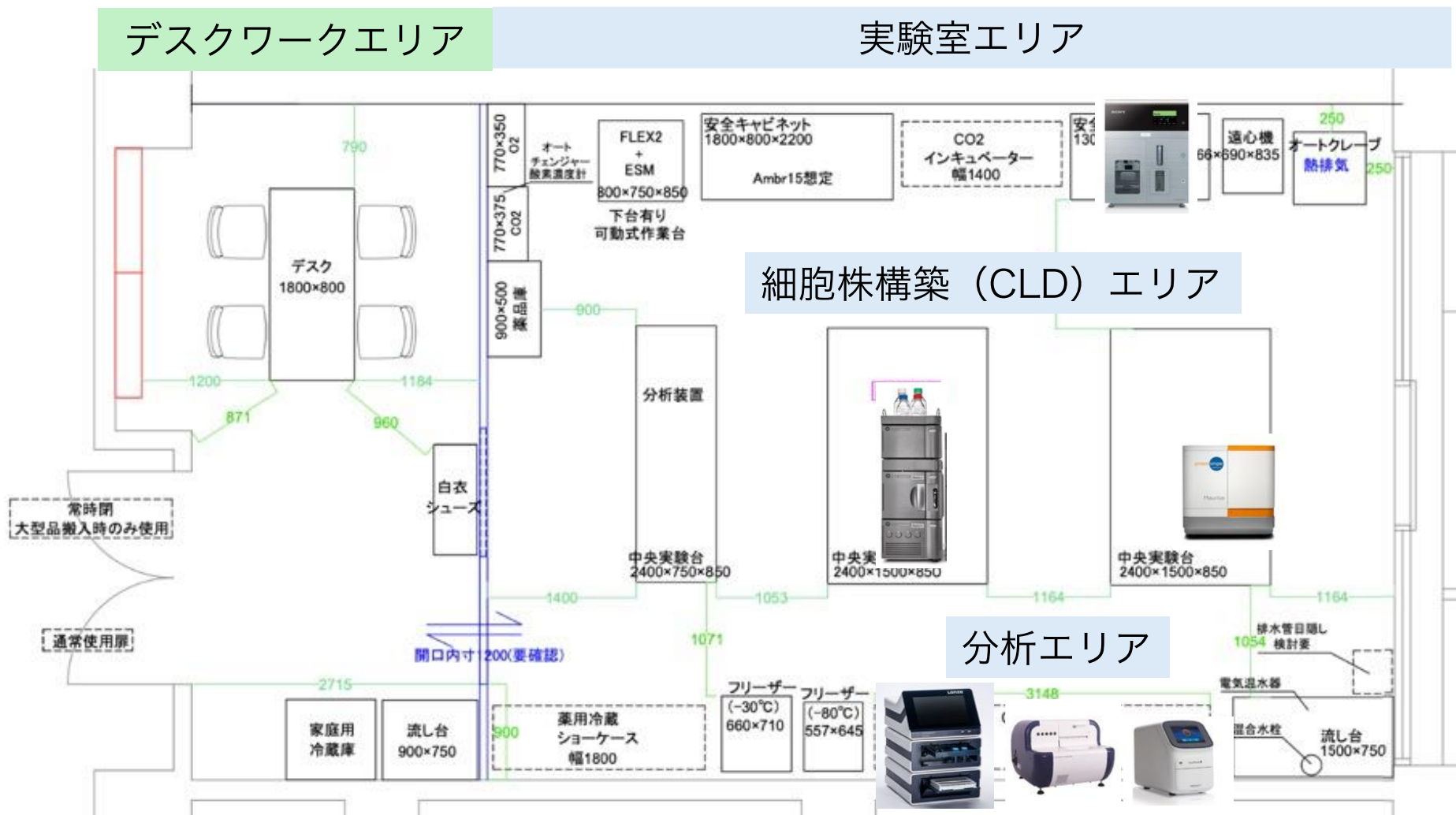


開発ラボ1（2025年1月6日より稼働）

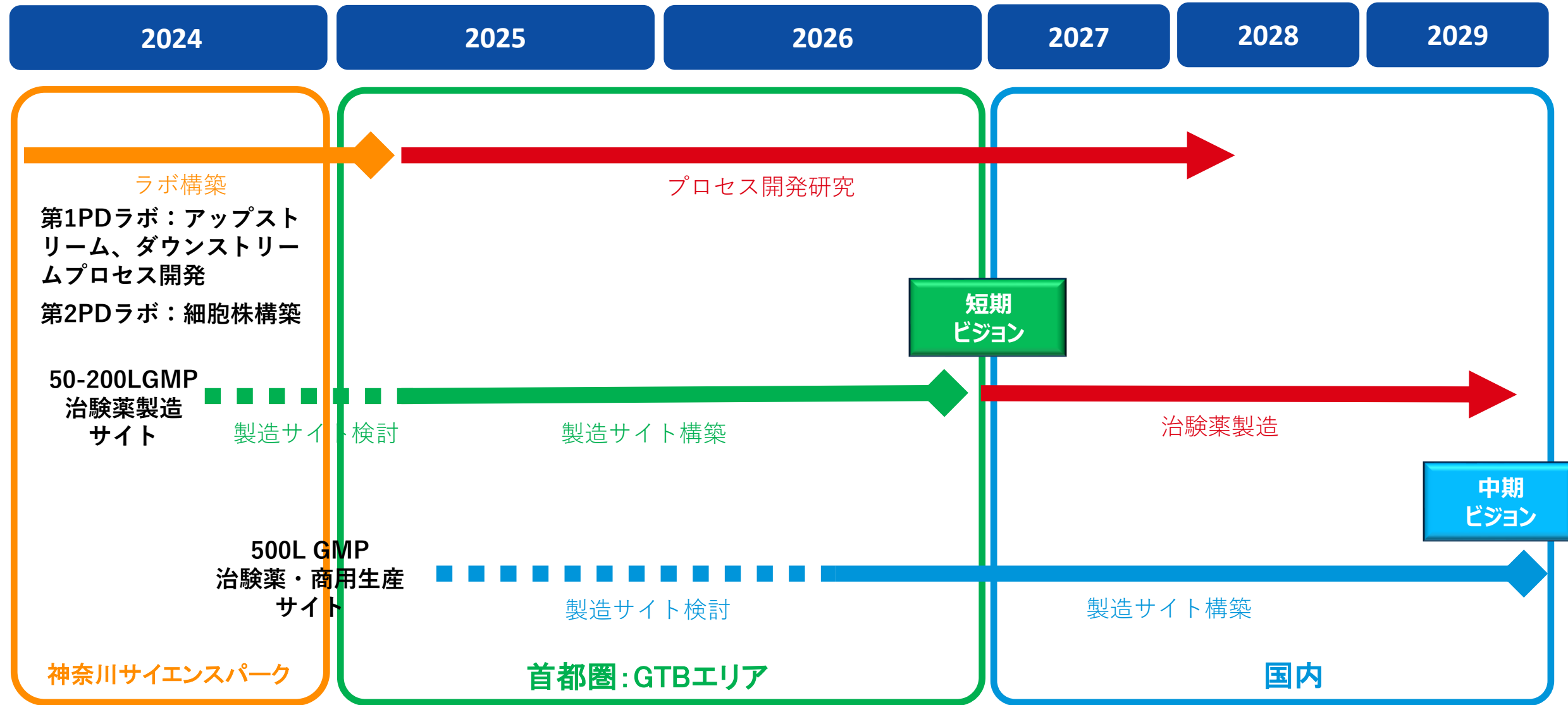
培養～精製エリア



開発ラボ2（2025年3月下旬より稼働予定）



プロセス開発ラボ、製造サイト構築計画の概要





免責事項

- 当資料に掲載されている情報は、シークス株式会社（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。
また、当資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 当資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。

2024年12月期 決算説明資料 <Appendix>

2025年2月
シークス株式会社





損益計算書（連結）

	FY2020 通期	FY2021 通期	FY2022 通期	FY2023 通期	FY2024 通期
(単位：百万円)					
売上高	181,598	226,833	277,031	309,768	302,314
営業利益	4,452	4,954	8,929	12,254	8,559
営業利益率（％）	2.5	2.2	3.2	4.0	2.8
経常利益	4,444	5,934	8,337	11,849	8,288
経常利益率（％）	2.4	2.6	3.0	3.8	2.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,724	4,561	4,733	8,185	3,754
親会社株主に帰属する 当期純利益率(％)	0.9	2.0	1.7	2.6	1.2
連結子会社数（社）	22	22	22	21	22
持分法適用数（社）	2	2	2	3	3
従業員数（人）	11,257	12,354	12,734	11,052	9,538



主な経営指標等（連結）

		FY2020 通期	FY2021 通期	FY2022 通期	FY2023 通期	FY2024 通期
自己資本当期純利益率 (ROE)	(%)	3.0	7.5	6.6	9.9	4.0
総資産経常利益率 (ROA)	(%)	3.1	3.8	4.4	5.6	3.8
総資本回転率	(回)	1.3	1.4	1.5	1.5	1.4
純有利子負債対純資産比率	(%)	43.4	63.6	64.2	49.1	31.6
D/Eレシオ	(倍)	0.8	0.8	0.8	0.7	0.5
流動比率	(%)	174.2	153.8	155.6	177.8	199.1
売上債権回転日数 ※	(日)	73.8	67.9	67.9	68.1	73.7
棚卸資産回転日数	(日)	79.1	76.2	86.7	85.6	82.1
株価純資産倍率 (PBR)	(倍)	1.3	1.0	0.8	0.8	0.6
株価収益率	(倍)	42.3	14.7	12.7	8.4	15.1

※2022年度の売上債権回転日数は、契約資産を含んだ2021年度の売上債権と2022年度の売上債権を用いて算出しております。



資本構成（連結）

	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
(単位：百万円)					
総資産	144,436	169,921	205,170	216,838	217,484
負 債	87,937	103,551	127,780	127,292	116,451
うち有利子負債	47,471	51,350	63,150	61,984	54,577
純資産	56,498	66,369	77,389	89,545	101,033
自己資本比率（％）	38.8	38.8	37.5	41.1	46.2
期末株価（円）	1,543	1,416	1,277	1,463	1,206
時価ベースの自己資本比率（％）	50.5	39.4	29.4	31.8	26.1
発行済株式総数（千株）	50,400	50,400	50,400	50,400	50,400
1株当たり純資産金額（円）	1,186.71	1,393.92	1,625.55	1,891.52	2,132.96

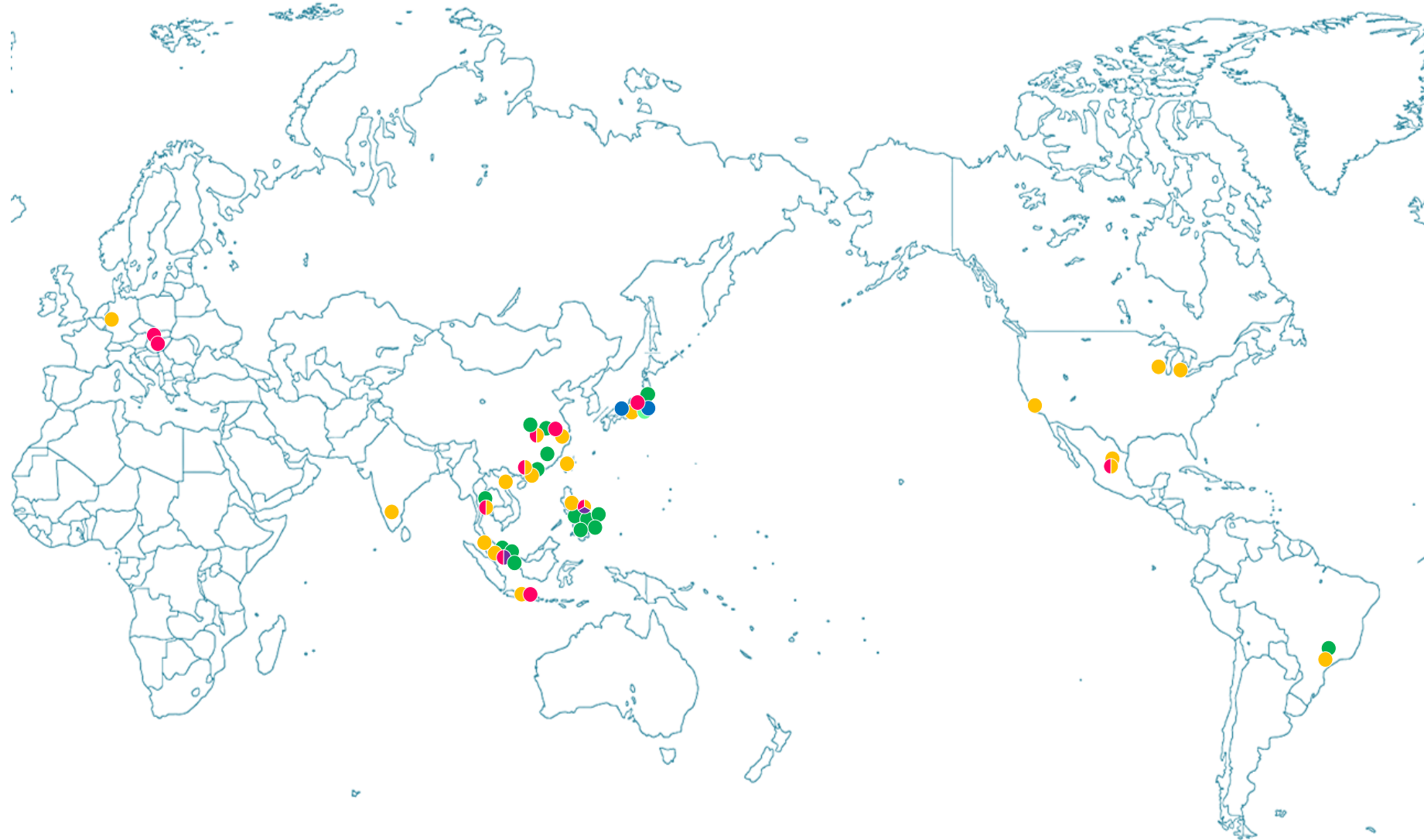


品種別売上高（連結）

(単位：百万円, %)	FY2023				FY2024			
	上期	下期	通期	%	上期	下期	通期	%
車載関連機器	90,166	102,507	192,673	62.2	98,998	98,934	197,932	65.5
産業機器	32,037	29,564	61,601	19.9	27,915	28,379	56,294	18.6
家電機器	14,007	12,493	26,500	8.6	11,957	12,817	24,774	8.2
情報機器	12,170	12,180	24,349	7.9	8,393	9,829	18,222	6.0
その他	2,233	2,413	4,646	1.5	2,095	2,997	5,092	1.7
合計	150,613	159,155	309,768	100.0	149,358	152,956	302,314	100.0



SIIX GLOBAL NETWORK



(2024年12月末現在)

● 本社	
● 営業・物流拠点	21ヵ所
※営業機能を持つ製造拠点含む	
● EMS製造子会社	11社
● 協力工場・その他	15社
● プラスチック成形・金型	2拠点
● CDMO事業	1社

他、設計・開発	4社
部品製造	3社
機械・化学品	4社

※上記MAPには示さず

SIIX GLOBAL NETWORK – 製造拠点

(2024年12月末現在)

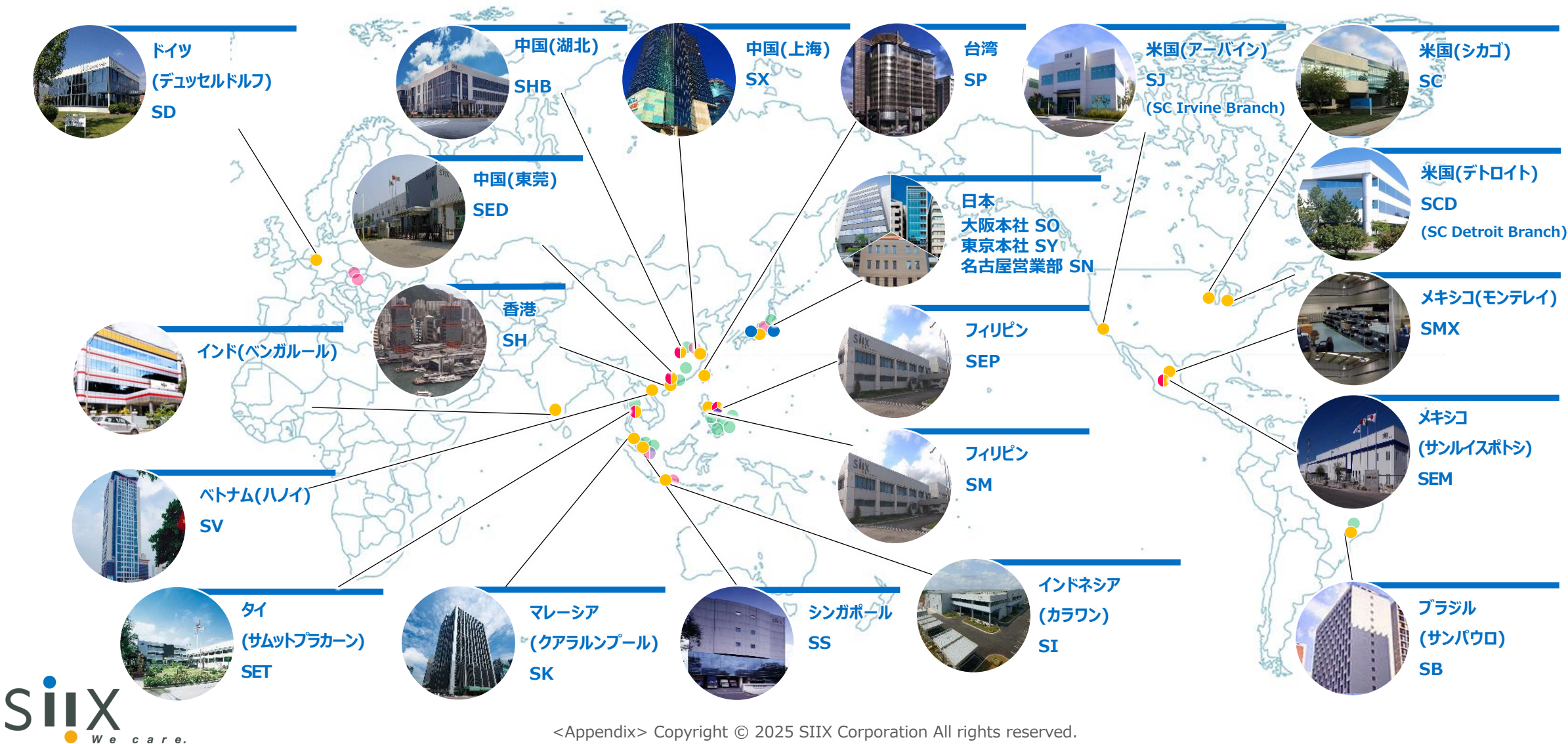


工場概要凡例

- ・建物延床面積
- ・従業員数
- ・主要生産品目
- ・ISO取得状況

SIIX GLOBAL NETWORK – 営業/物流拠点

(2024年12月末現在)





SIIX GLOBAL NETWORK – 協力工場/その他

(2024年12月末現在)





免責事項

- 当資料に掲載されている情報は、シークス株式会社（以下、当社）の財務情報、経営指標等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。
また、当資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、当資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
- 当資料に掲載している情報に関して、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によりデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、事由の如何を問わずに一切責任を負うものではありません。
- 当資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。